



本村幼稚園 3月の園だより

令和6年2月29日 港区立本村幼稚園長 山崎 高志

この1年で若木に育った子どもたち

園長 山崎 高志

春の息吹が感じられる3月。3月は旧暦で「弥生（やよい）」です。弥生の語源は草木の芽吹く「いやおい」から「やよい」となった説が有力だと言います。子どもたちは、寒い時期から春に向けて、まさに草木が芽吹くごとく勢いよく成長しています。



さて、早いもので、令和5年度の園生活も残すところわずかとなりました。この締めくくりの時期に、一人ひとりの子どもが一段とたくましい姿を見せてくれることは、うれしい限りです。過日実施された生活発表会での姿、他の幼稚園や保育園との交流活動での姿は自信にあふれ、瞳の輝きに力強ささえ感じました。もちろん、ここに至るまではいろいろな失敗体験や我慢しなければならなかったことがありました。しかしそのような体験こそが、子ども

たちの心を一回りも二回りも大きくしたのでしょう。登園の時に泣いていたあの子、保護者の方と離れられなかったあの子、今ではとっても立派なお兄さんお姉さんになりました。

本村幼稚園ではたくさんの行事、多様な交流、本物の体験がありました。子どもたちは幼稚園での日々の生活を通じて、本園が目指してきた「一人ひとりが光り輝く」（自己肯定感が高まった）状態になったのではないかと感じています。

昨春小さな芽だった子どもたちが、今春しっかりとした若木に育ちました。幼稚園からたくさんの栄養分を得て若木となった本村幼稚園の子どもたちです。きっと大きな木へと育つことでしょう。これからも楽しみです。

最後に、はと組の保護者の皆様、これまで本園の教育活動にご理解とご協力をいただくとともにたくさん応援していただきありがとうございました。4月からは本村小学校でお待ちしております。そして、できましたら引き続き本村幼稚園の応援団としてお力をお貸しください。

また、りす組の保護者の皆様、地域の皆様、来年度も引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

